2027年3月期　第2四半期決算補足説明資料

2026年11月11日

レオン自動機株式会社
RHEON AUTOMATIC MACHINERY CO., LTD.
証券コード（ 6272 ）

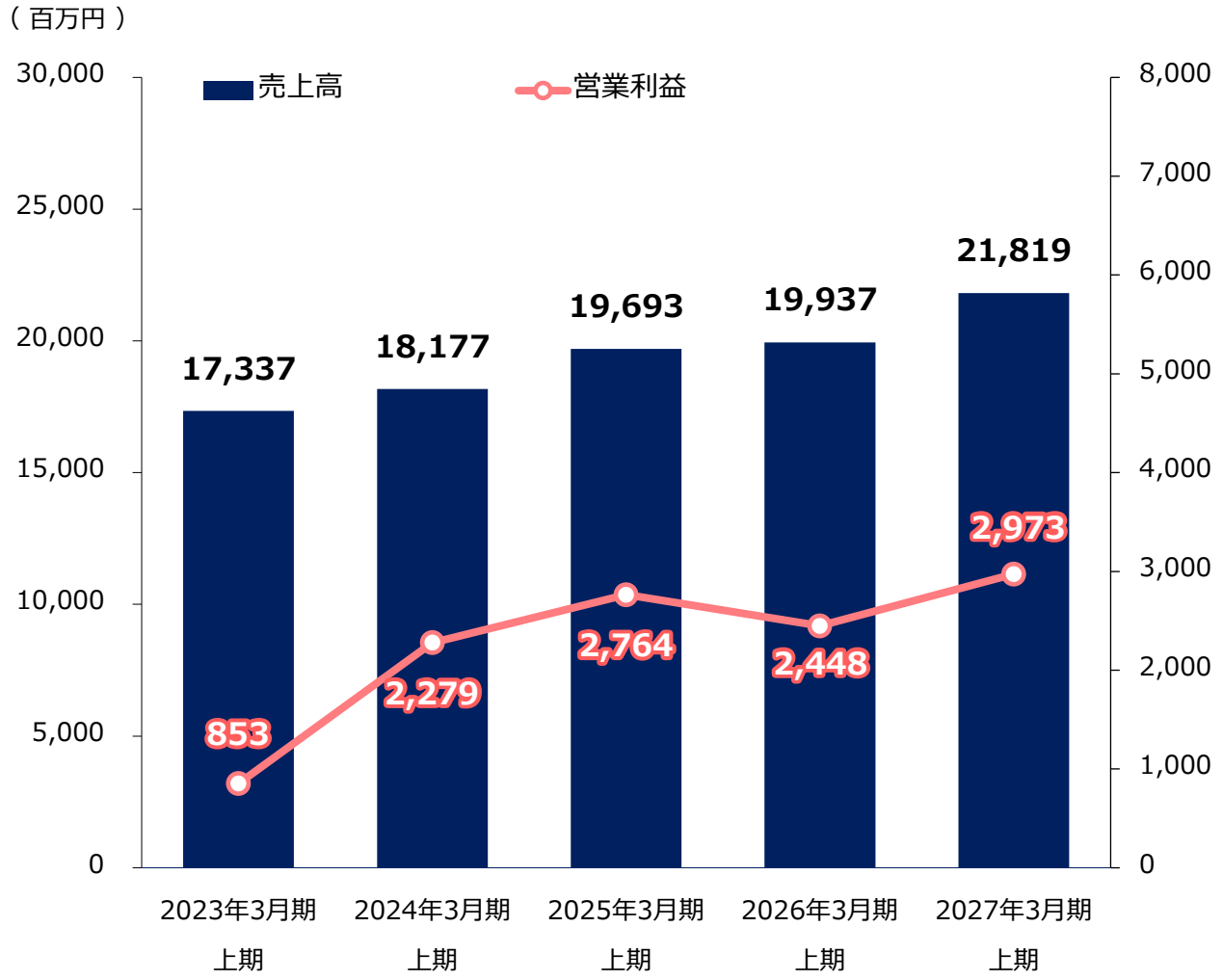
◆ 連結計算書サマリー

（百万円）	2026年3月期 上期実績	2027年3月期 上期実績	増減額	増減率 （%）	2027年3月期 通期業績予想 （進捗率）
売上高	19,937	21,819	1,881	9.4 %	42,900 (50.9 %)
営業利益	2,448	2,973	525	21.4 %	5,620 (52.9 %)
経常利益	2,556	2,956	399	15.6 %	5,690 (52.0 %)
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,710	2,021	310	18.2 %	4,020 (50.3 %)
期中平均為替レート	USドル＝146.04 円 ユーロ ＝ 168.06 円	USドル=159.37 円 ユーロ ＝ 184.35 円	―	―	USドル=150.00 円 ユーロ ＝ 175.00 円

※四半期ごとの計画開示は行っていないため、通期業績予想に対する進捗率を記載しております

© 2026 RHEON Automatic Machinery Co., Ltd.

◆ 過去5年の業績推移



USドル	133.97 円	140.99 円	152.63 円	146.04 円	159.37 円
ユーロ	138.73 円	153.38 円	165.95 円	168.06 円	184.35 円

主な増減要因

- 売上高、営業利益ともに過去最高
- 売上高への為替影響額 ＋1,251百万円
- 主な営業利益の増減要因

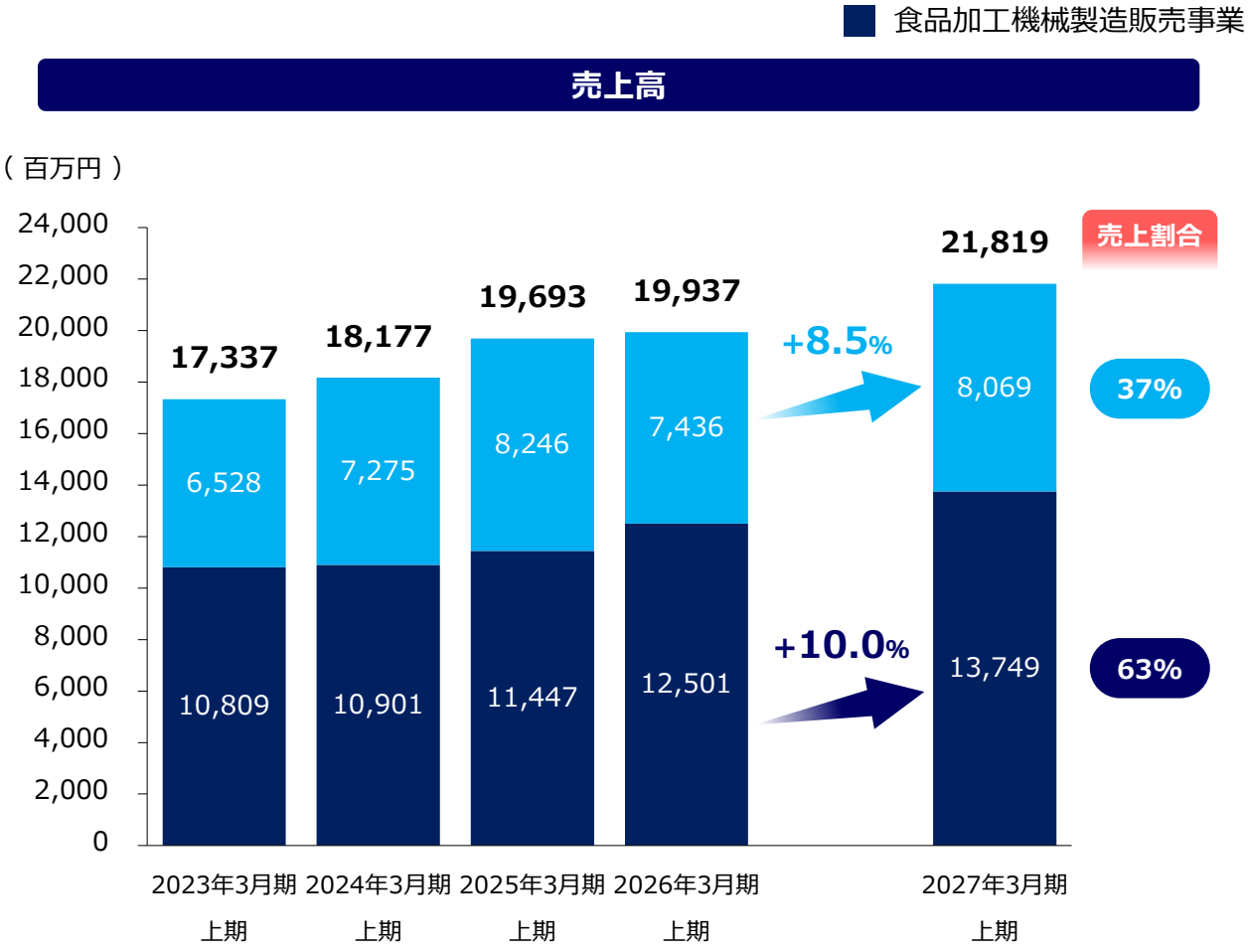
売上総利益	＋1,000百万円
広告宣伝費減少	＋162百万円
荷造運搬費増加	▲289百万円
その他	▲364百万円

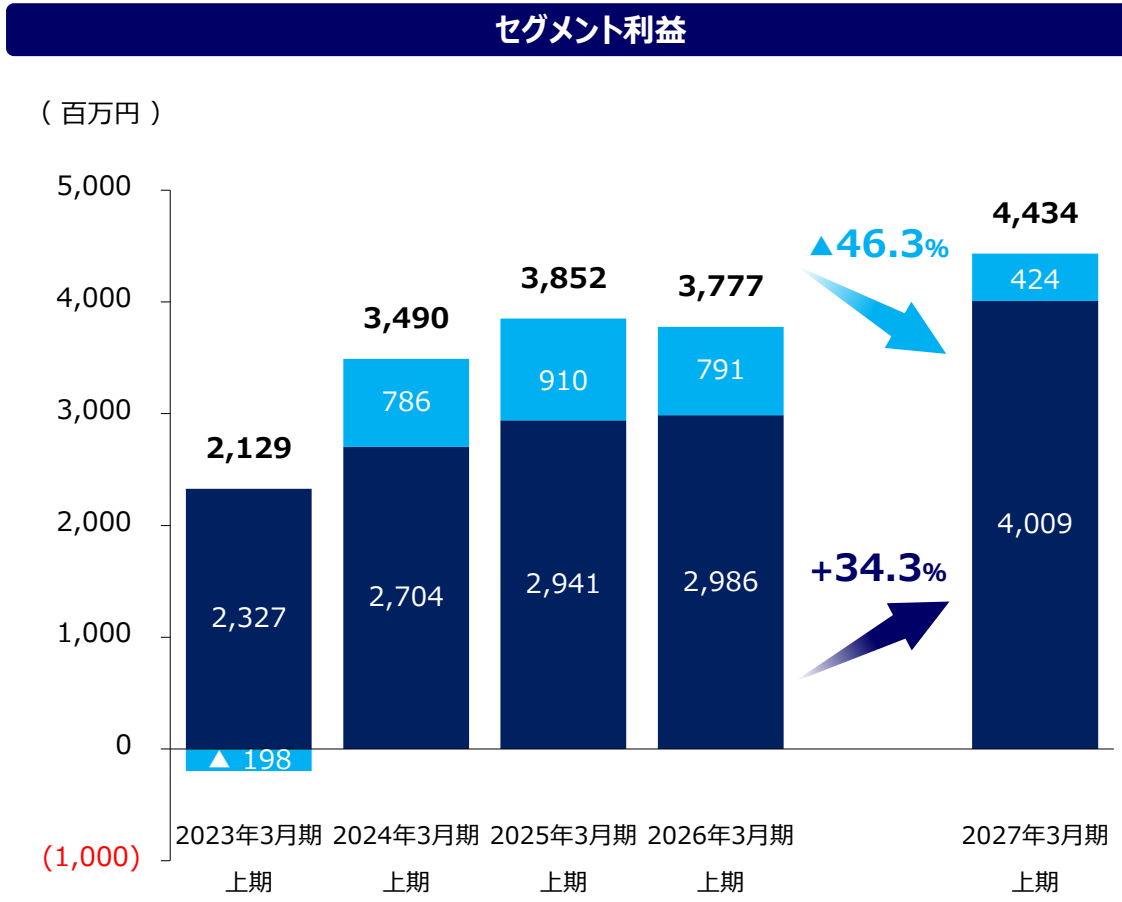
© 2026 RHEON Automatic Machinery Co., Ltd.

◆ 食品加工機械製造販売事業・食品製造販売事業　《 事業別売上高・セグメント利益 》

食品加工機械製造販売事業　欧米の売上が大きく伸長し全体を牽引。売上高増加、広告宣伝費減少の影響で利益が増加。

食 品 製 造 販 売 事 業　米国での円安影響により増収したが、原材料価格の高騰と荷造運搬費の増加により減益。



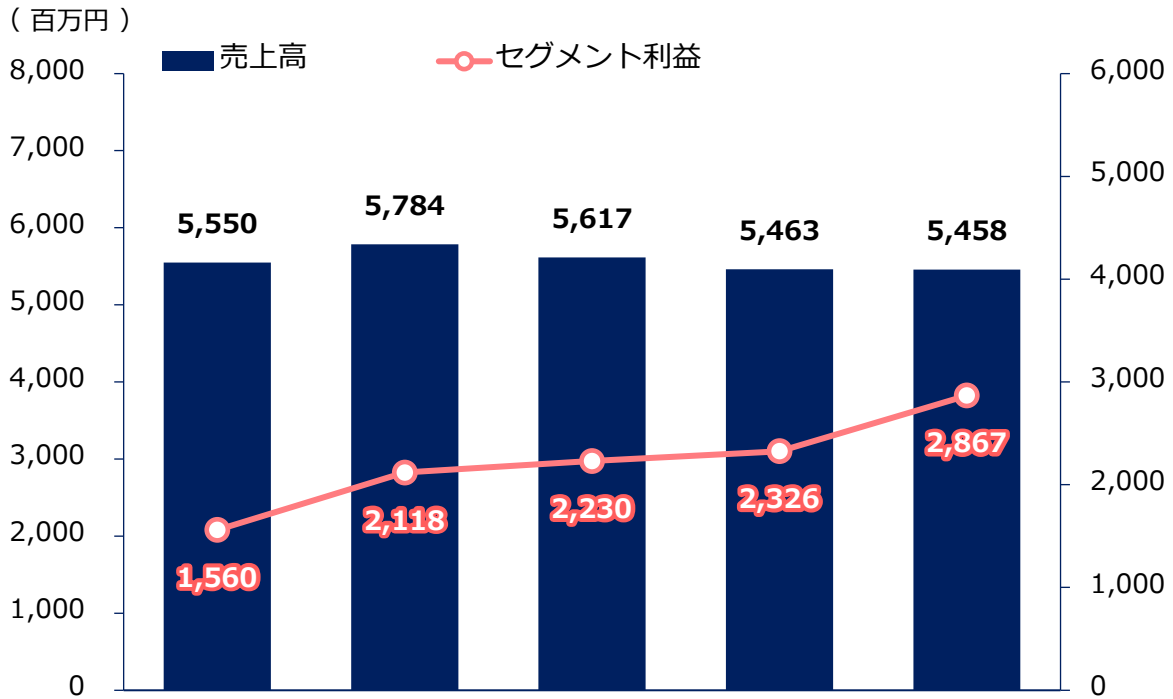


© 2026 RHEON Automatic Machinery Co., Ltd.

◆ 食品加工機械製造販売事業　日本《 過去5年　売上高・セグメント利益 》

- 大型製パンライン等、仕入商品の売上は減少したが、食品成形機、修理その他の売上が増加し、前期と同水準を維持。
- 下期納入案件は増加予定であり、通期計画は達成する見込み。

売上高･セグメント利益



売上高 対前年増減率	+4.2 %	-2.9 %	-2.7 %	-0.1 %

主な増減要因

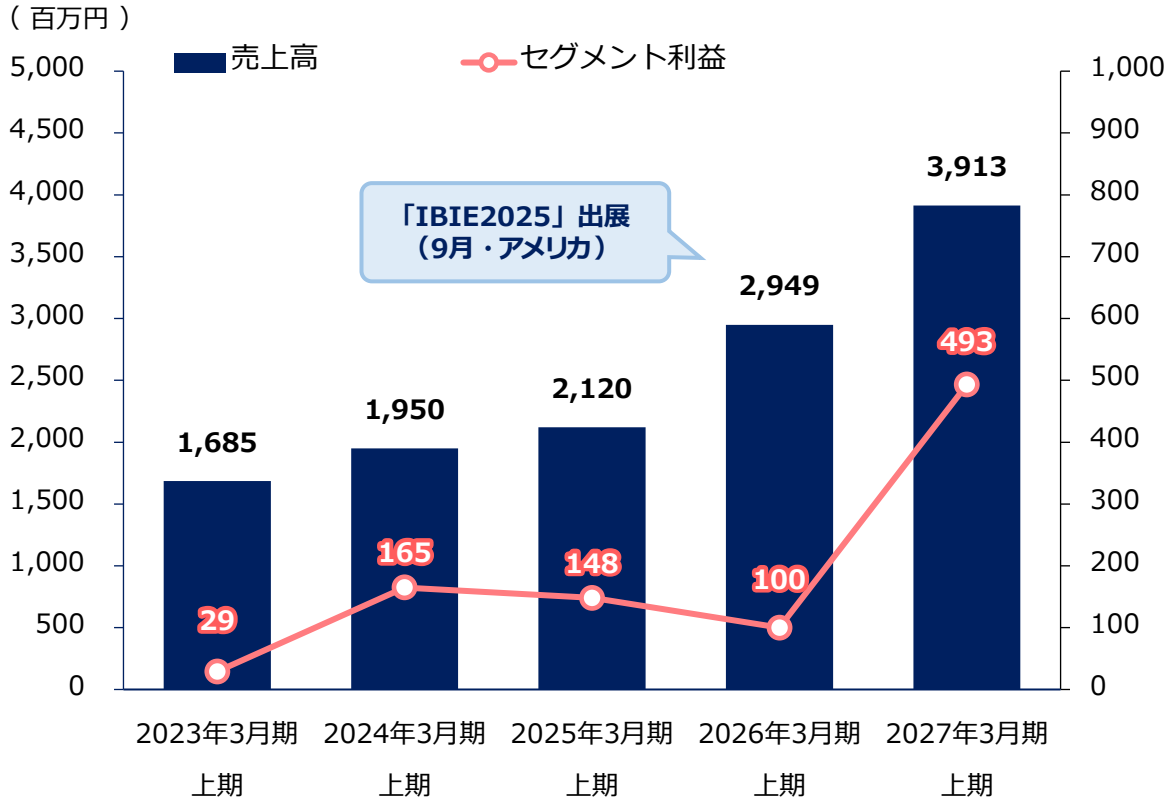
- 大手・中堅ベーカリーや流通関連業界による製パンライン等の需要は堅調さを維持しているが、納入予定時期の関係で上期は対前期比減少
- 食品成形機の売上は「中小企業省力化投資補助金」を活用した買替需要もあり対前期比増加
- 修理その他の売上は増加

© 2026 RHEON Automatic Machinery Co., Ltd.

◆ 食品加工機械製造販売事業　北米・南米《 過去5年　売上高・セグメント利益 》

- 「アルチザンブレッドライン」や「コンチャライン」の販売が好調で売上、利益ともに増加。
- 製パンライン等の大型案件は確保できており、通期計画達成に向け順調に推移している。

売上高･セグメント利益



売上高 対前年増減率	+15.7 %	+8.7 %	+39.1 %	+32.7 %

主な増減要因

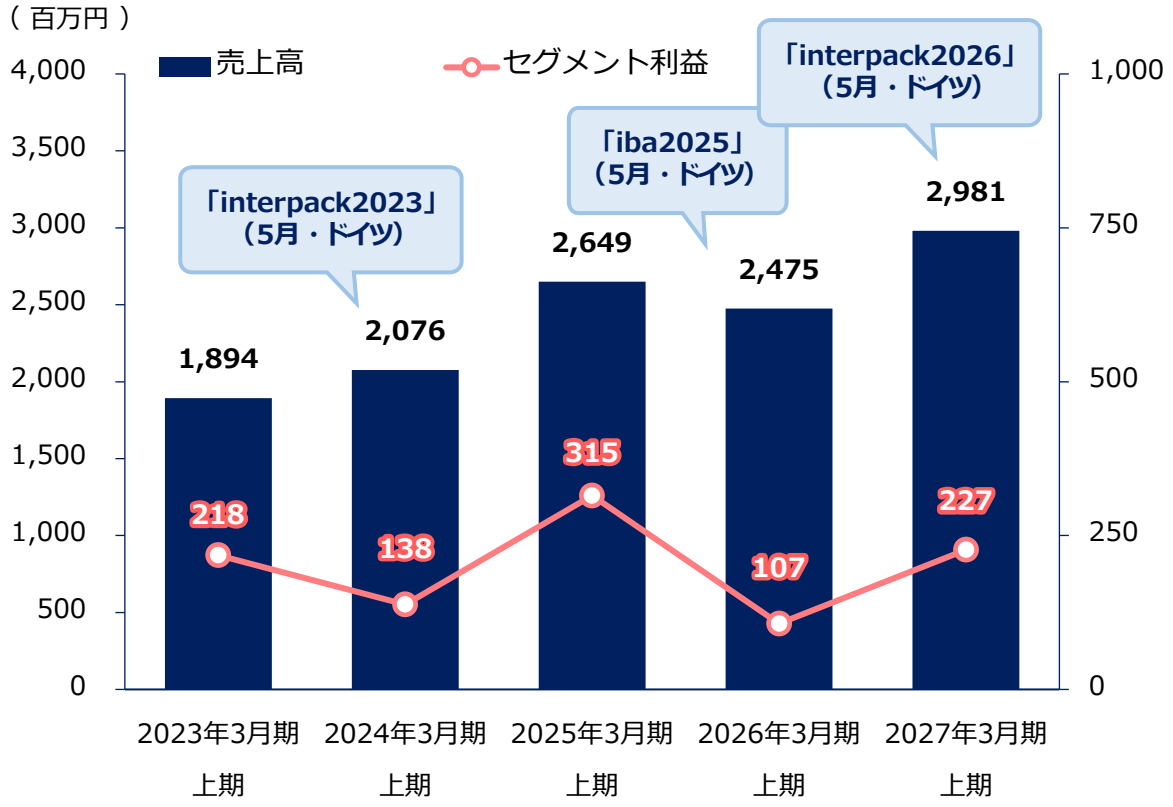
- 現地通貨ベースの売上高は対前期比21.6%アップ
- 大型製パンライン等の納入案件が継続して好調
- 食品成形機の販売は対前期比で微減
- 修理その他ではスペアパーツの発注が増加
- 販売量の増加と大型展示会に関わる広告宣伝費の減少により利益が増加

© 2026 RHEON Automatic Machinery Co., Ltd.

◆ 食品加工機械製造販売事業　ヨーロッパ《 過去5年　売上高・セグメント利益 》

- 欧州全域で製パンライン等、食品成形機、修理その他の販売が好調で、売上、利益ともに増加。
- 下期に製パンライン等の納入やメンテナンス案件が控えており、通期計画の達成を見込む。
- リピート案件の受注が多く、設備更新需要は好調に続く見込み。

売上高･セグメント利益



売上高 対前年増減率	+9.6 %	+27.6 %	-6.6 %	+20.5 %

主な増減要因

- 現地通貨ベースの売上高は対前期比9.8%アップ
- 製パンライン等は、標準機販売が好調
- 食品成形機は大口の設備投資があり販売が増加
- 修理その他の売上は増加
- 大型展示会に関わる広告宣伝費減少等により

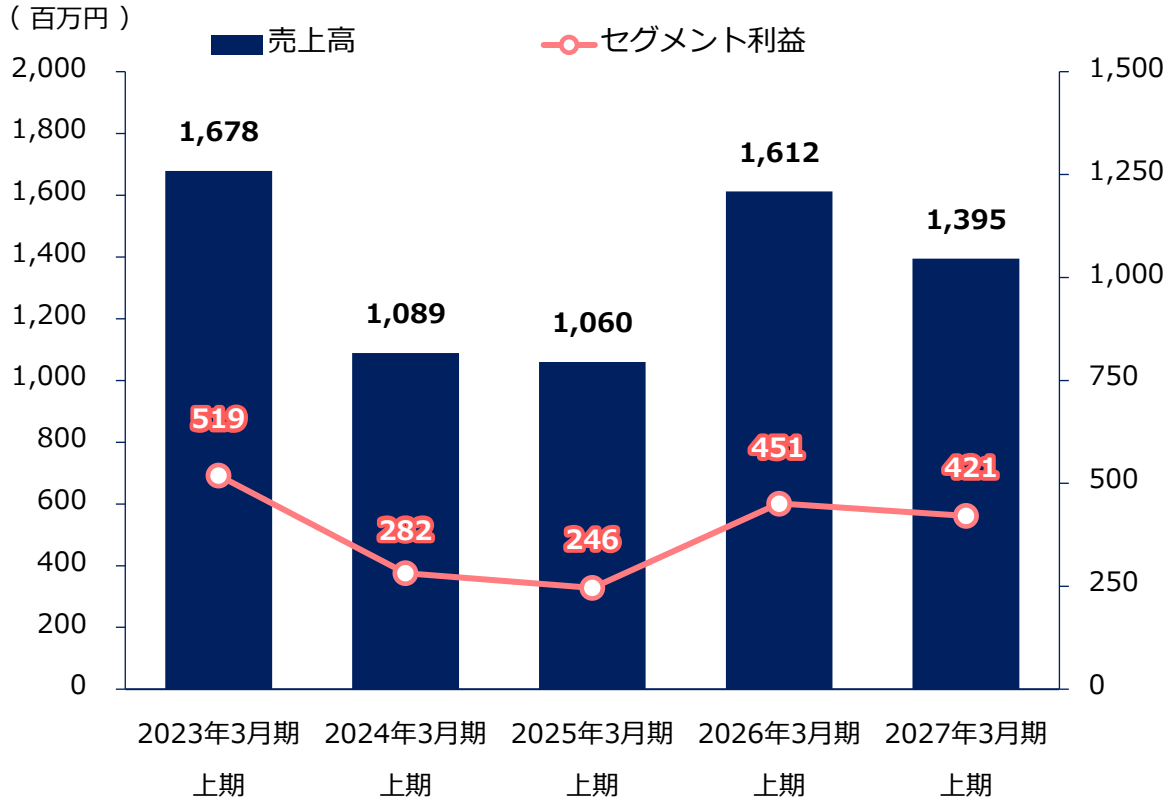
  対前期比で利益が増加

© 2026 RHEON Automatic Machinery Co., Ltd.

◆ 食品加工機械製造販売事業　アジア《 過去5年　売上高・セグメント利益 》

- 食品成形機、修理その他の売上が増加したが、製パンライン等の売上は減少。
- 下期に大型製パンライン等の納入予定案件があるが、対前期比で売上は減少する見込み。

売上高･セグメント利益



売上高 対前年増減率	-35.1 %	-2.6 %	+52.0 %	-13.5 %

主な増減要因

- 大型案件の減少により対前期比で売上、利益が減少
- 製パンライン等は、標準機販売が増加傾向
- 韓国、インド、オセアニア地域における
  食品成形機の販売が堅調
- 修理その他の売上は増加

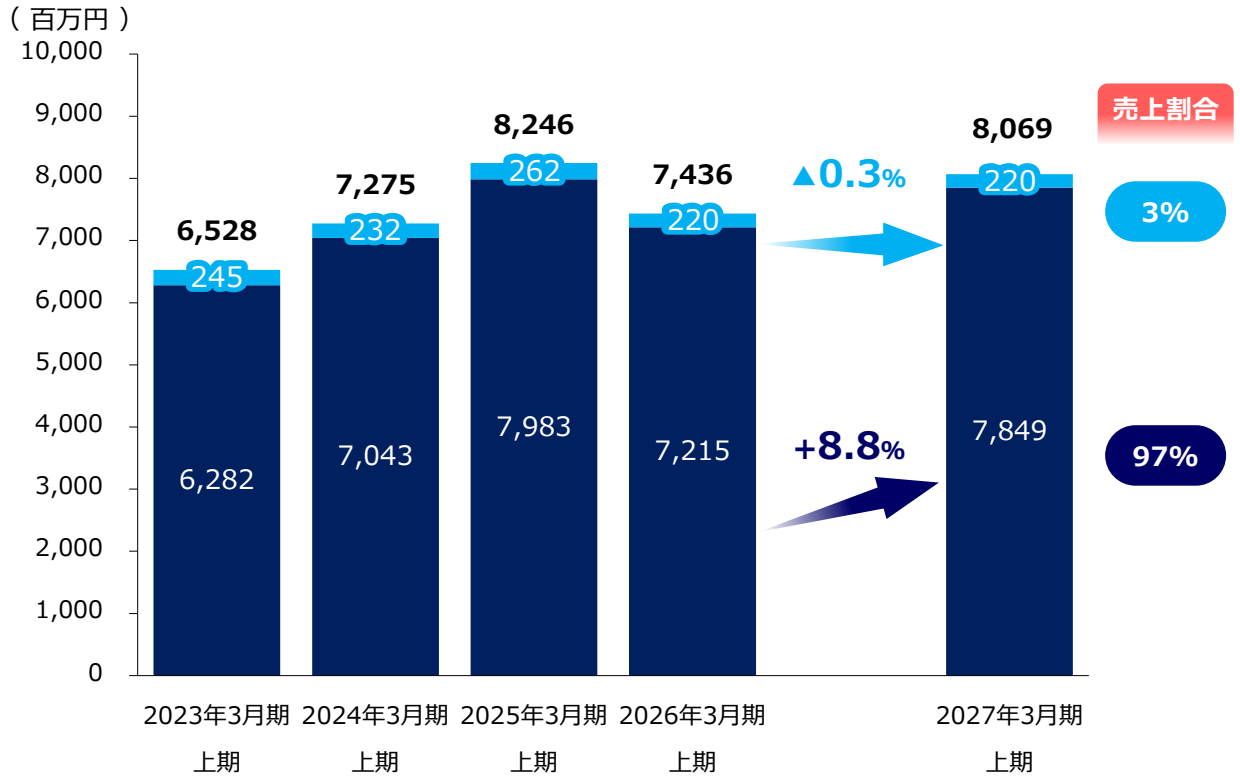
© 2026 RHEON Automatic Machinery Co., Ltd.

◆ 食品製造販売事業　《 地域別売上高・セグメント利益 》

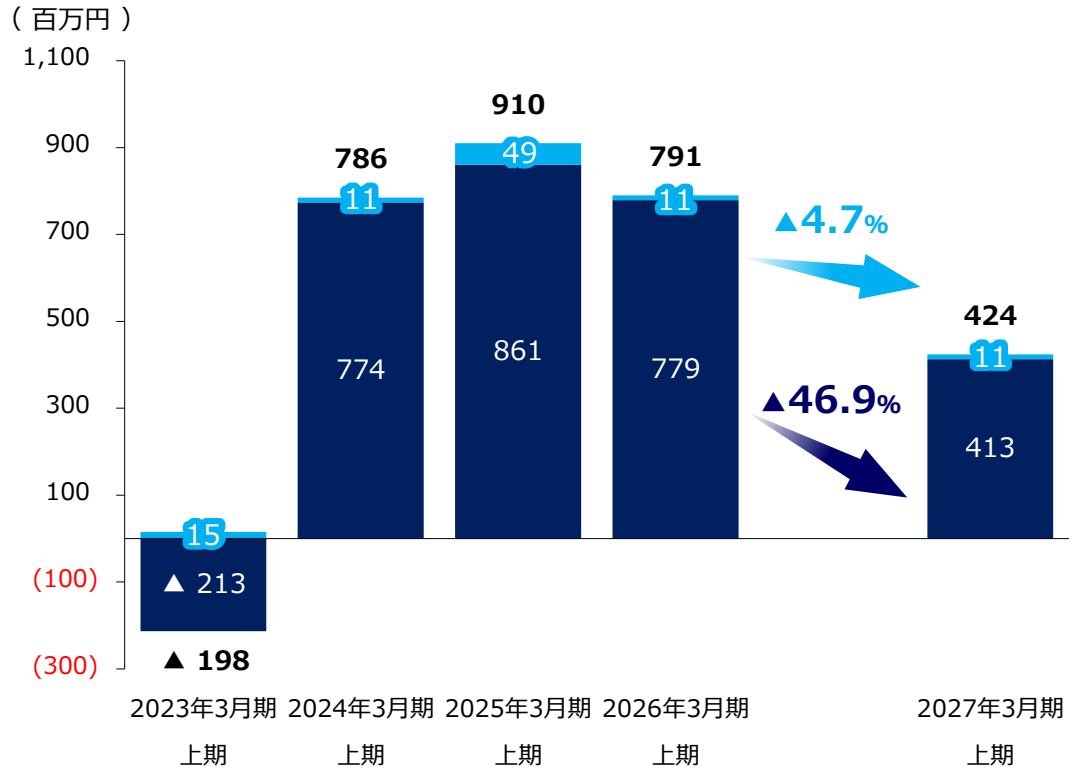
売　上　高	● 北米・南米	新規顧客向けの売上が増加したことにより増収。（現地通貨ベースでは微減）
	● 日本	売上増減先が入り交じり、対前期比で横ばい。
セグメント利益	● 北米・南米	油脂材料や原油価格の高騰により、利益が減少。
	● 日本	売上原価、販売管理費ともに大きな変動なく、利益は対前期比で横ばい。

■ 北米・南米（オレンジベーカリー）　■ 日本（ホシノ天然酵母パン種）

売上高



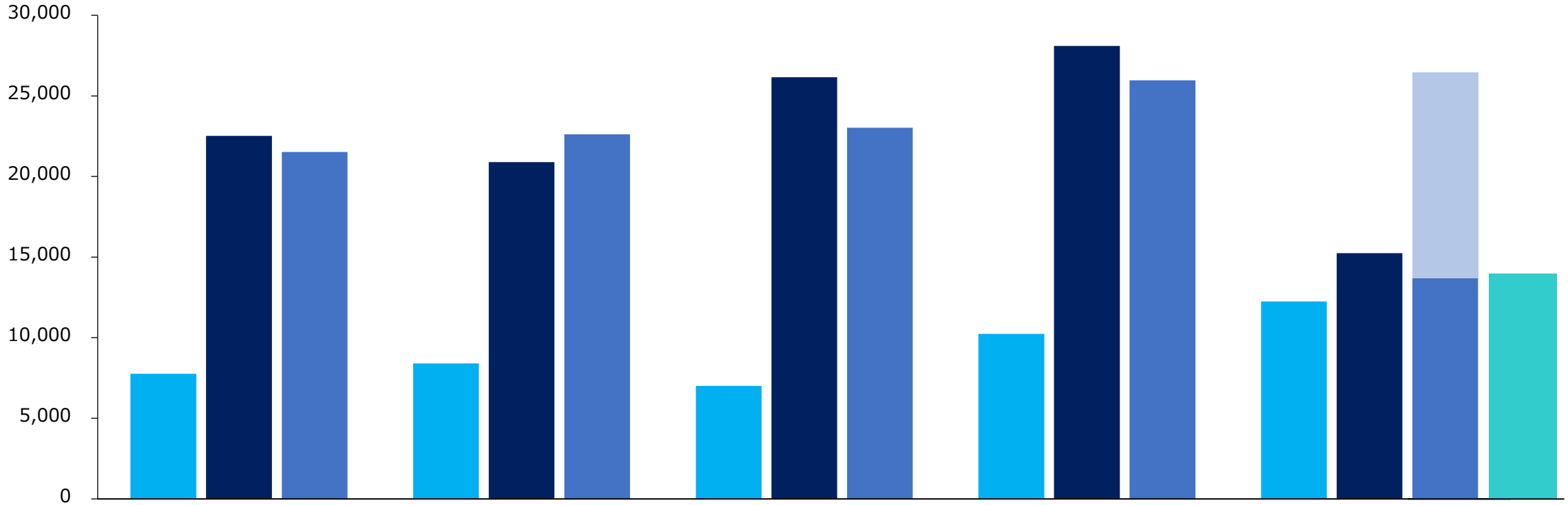
セグメント利益



© 2026 RHEON Automatic Machinery Co., Ltd.

◆ 食品加工機械製造販売事業　受注残・受注高・売上高の推移

（ 百万円 ）



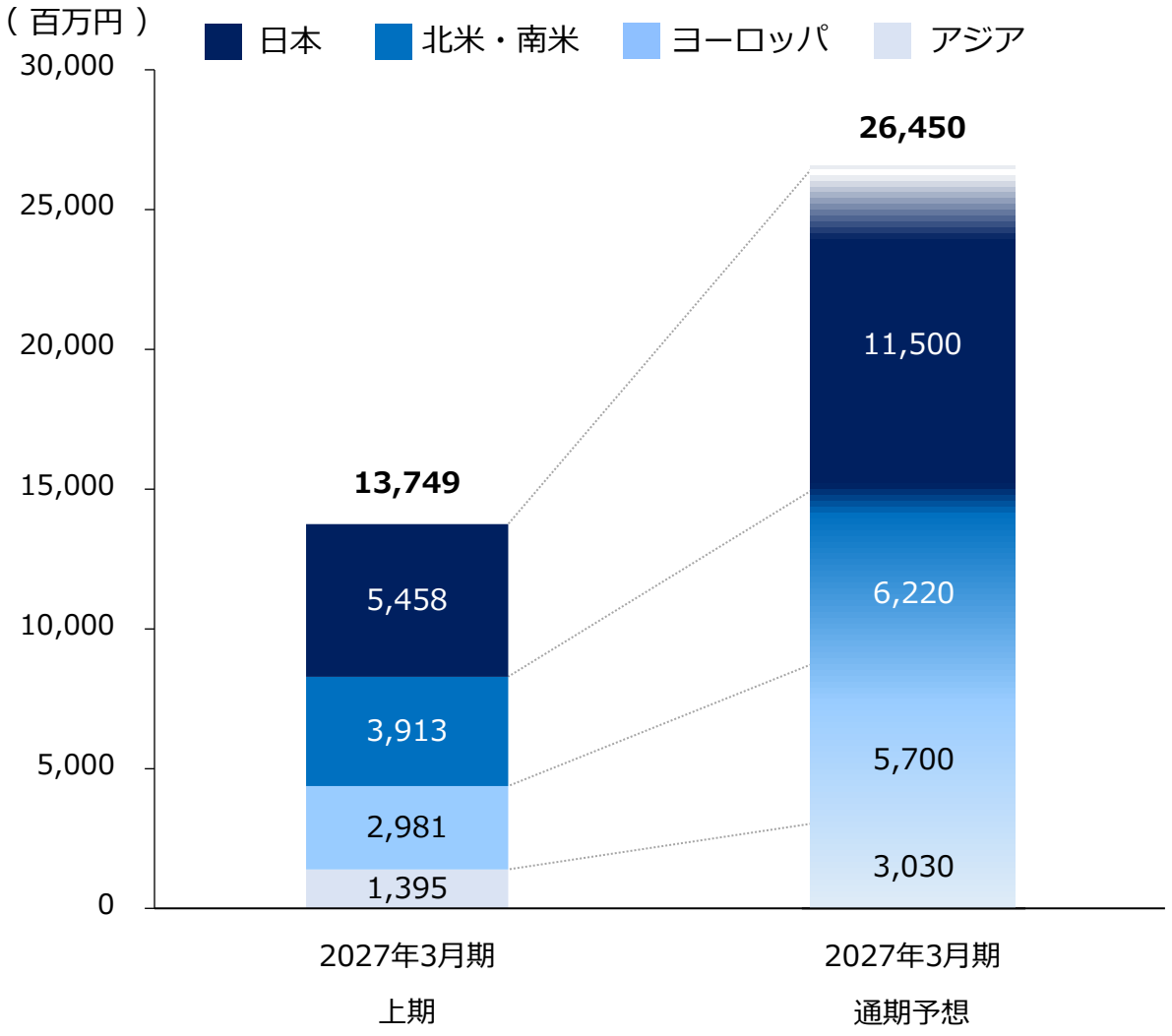
	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期	2027年3月期
受注残（期初）	7,761	8,411	7,012	10,235	4/1　時点 12,249 10/1　時点 14,099
受注高（期中）	22,523	20,886	26,152	28,101	15,241（1Q-2Q実績）
売上高	21,523	22,608	23,028	25,965	26,450（通期予想） 13,749（1Q-2Q実績）

※受注残は4月1日時点

© 2026 RHEON Automatic Machinery Co., Ltd.

◆ 事業別業績予想　食品加工機械製造販売事業

売上高予想



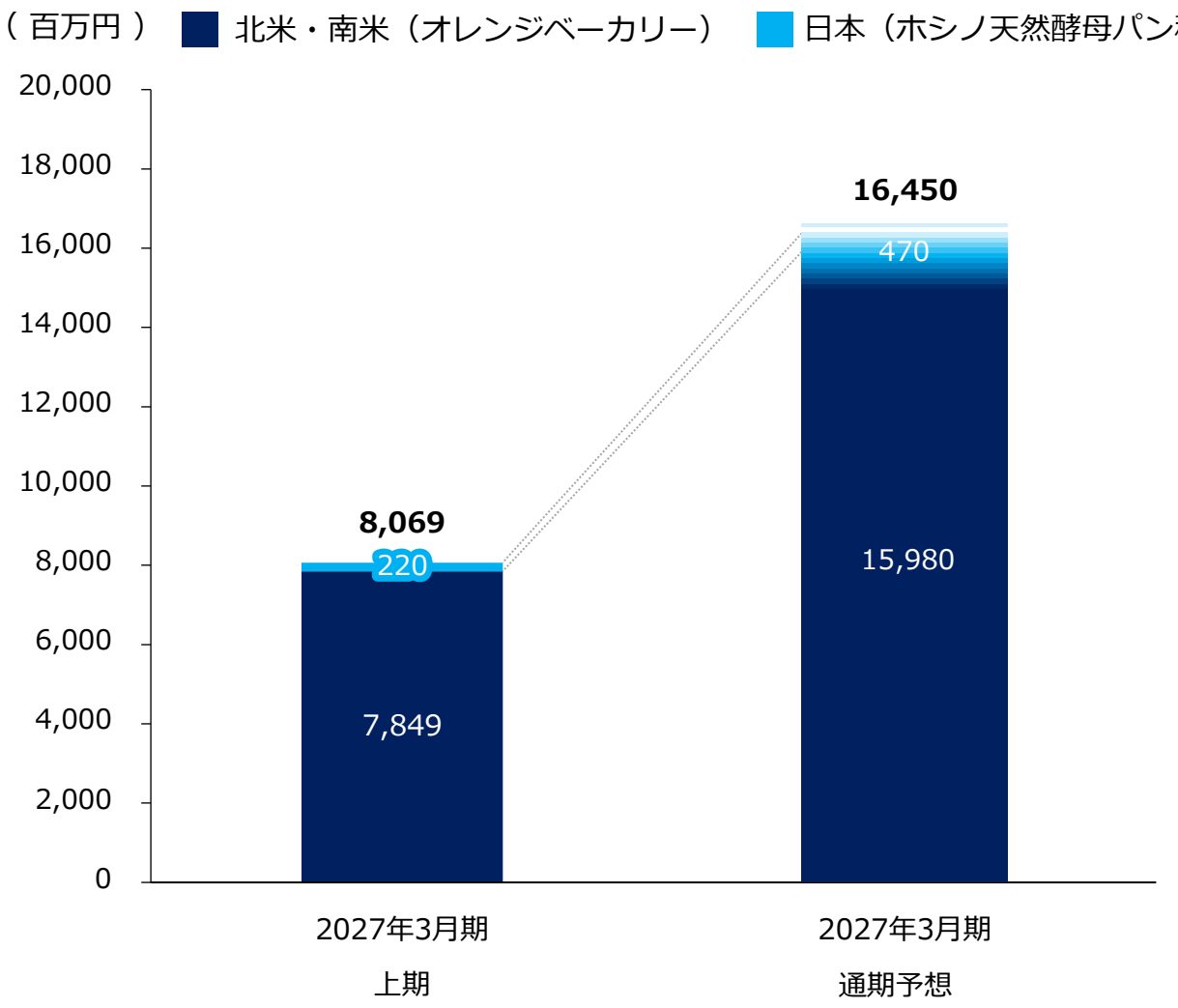
日本	● 大手メーカーの設備更新や投資需要は堅調に推移 ● 製パンライン等の下期納入案件が増加予定であり、通期計画達成を見込む ● 食品成形機に加え、小型製パンライン等が「中小企業省力化投資補助金」の対象に登録されたことにより、補助金を活用した案件の増加を見込む
北米・南米	● 大型製パンライン等の好調な受注が継続 ● オレンジベーカリー新工場の稼働に合わせ、ペストリー市場へアプローチ ● 食品成形機の売上は減少しており、低販売地域への営業活動を強化する ● 大手メーカーからの食品成形機の引き合いは継続している ● 修理その他では、スペアパーツやオプションの販売に引き続き注力
ヨーロッパ	● 主力の小型製パン機であるツインデバイダーのほか、食品成形機の更新、増機による販売が好調 ● 欧州全域でリピート案件が堅調であり、代理店と連携して対応中 ● 競合実績のあるイタリア、スペイン、スイス地域での販売活動を強化 ● 中東地域での需要は継続しており、引き続き営業活動を強化 ● 展示会（interpack）や研究会からの見込み客へ継続してアプローチ ● 修理その他の売上も順調に推移しており、通期計画達成を見込む
アジア	● 下期に大型の納入案件が控えているが、通期売上は減少する見込み ● 食品成形機の通期販売台数は計画達成に向け順調に進捗 ● 中国での製パンライン等、食品成形機の販売は低迷 ● オセアニア地域で製パンライン等、食品成形機の受注があり好調を維持 ● インドマーケットでは、食品成形機や製パンライン等の売上が好調に推移、大手メーカーとの関係強化を図る

※数値は通期の業績予想を記載しております

© 2026 RHEON Automatic Machinery Co., Ltd.

◆ 事業別業績予想　食品製造販売事業

売上高予想



北米・南米（オレンジベーカリー）

- パイ製品、ホイロ後冷凍商品の販売を促進
- 油脂材料価格の高騰や荷造運搬費の高止まりにより、収益圧迫要因は継続する見込み
- 対前期比で売上は微増と予想

日本（ホシノ天然酵母パン種）

- 各種展示会への出展や製品講習会、見込み客向け個別提案会の実施により売上増加を図る
- 売上減少先への販売促進活動を強化し、各販売先に合った提案営業を行い、売上回復を図っていく

※数値は通期の業績予想を記載しております

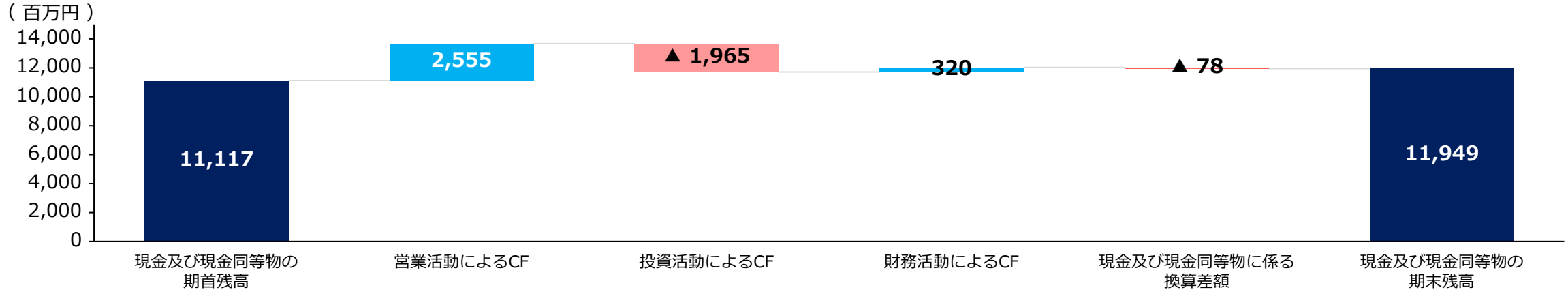
© 2026 RHEON Automatic Machinery Co., Ltd.

◆ 連結貸借対照表サマリー

（百万円）	2026年3月期（2026年3月31日）		2027年3月期 上期（2026年9月30日）				
	金額	構成比（%）	金額	構成比（%）	増減額	増減率（%）	主な増減要因
資産合計	54,405	100 %	57,401	100 %	2,996	5.5 %	–
流動資産	25,654	47.2 %	27,058	47.1 %	1,403	5.5 %	● 仕掛品の増加　など
固定資産	28,750	52.8 %	30,343	52.9 %	1,592	5.5 %	● 建設仮勘定の増加 ● 投資有価証券の増加　など
負債合計	11,342	20.8 %	13,186	23.0 %	1,844	16.3 %	–
流動負債	9,620	17.7 %	9,780	17.0 %	159	1.7 %	● 前受金の増加 ● 買掛金の減少　など
固定負債	1,722	3.2 %	3,406	5.9 %	1,684	97.8 %	● 長期借入金の増加　など
純資産合計	43,062	79.2 %	44,214	77.0 %	1,152	2.7 %	● 利益剰余金の増加 ● 自己株式の増加　など
負債純資産合計	54,405	100 %	57,401	100 %	2,996	5.5 %	–

© 2026 RHEON Automatic Machinery Co., Ltd.

◆ 連結キャッシュ・フローサマリー

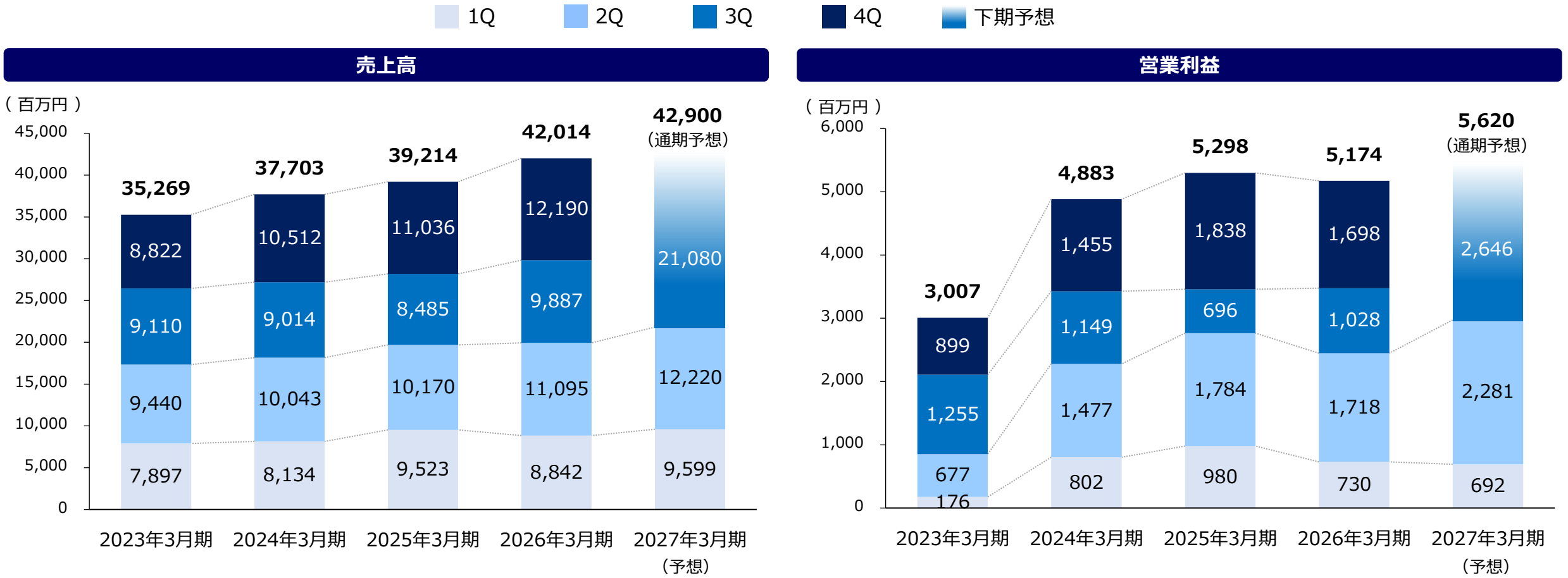


（百万円）	2026年3月期上期	2027年3月期上期	主な増減要因
現金及び現金同等物の期首残高	15,777	11,117	－
営業活動によるCF	1,180	2,555	● 税金等調整前中間純利益 2,956 ● 減価償却費 729 ● 売上債権の増減額（▲は増加） 652 ● 棚卸資産の増減額（▲は増加） ▲774 ● 法人税等の支払額 ▲1,181
投資活動によるCF	▲6,122	▲1,965	● 有形固定資産の取得 ▲1,792 ● 無形固定資産の取得 ▲199
財務活動によるCF	▲711	320	● 長期借入による収入 1,893 ● 配当金の支払額 ▲833
現金及び現金同等物に係る換算差額	▲38	▲78	－
現金及び現金同等物の増減額	▲5,692	831	－
現金及び現金同等物の期末残高	10,085	11,949	－

© 2025 RHEON Automatic Machinery Co., Ltd.

◆四半期毎の売上高・営業利益推移

- 2Q（7月－9月）売上高は欧米の販売好調により対前期比10.1%増加。
- 営業利益は食品成形機、修理その他の販売が好調で増加。



※2027年3月期（予想）の数値は通期業績予想を記載しております

© 2026 RHEON Automatic Machinery Co., Ltd.

《 社名の由来 》

レオン自動機の「レオン」は、レオロジー（流動学）に由来します。レオロジーとは、粘性や弾性の流動を解明する科学であり、
当社の創業者（名誉会長 林虎彦）が、レオロジーを応用し、世界初の包あん機を開発したことから名づけました。

【　免責事項　】

本資料の将来的予測に関する業績・事業計画などは資料作成時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、潜在的リスクや不確実性を含んでおります。そのため、実際の業績・財務状況は今後の経済動向・市場の変化など様々な要因により大きく異なる可能性があります。

© 2026 RHEON Automatic Machinery Co., Ltd.